

2月中旬発売

「茶人叢書」刊行開始

金森宗和 異風の武家茶人 谷 晃 著

野村美術館館長

四六判・三〇〇頁・上製

定価三、二〇〇円(＋税)

ISBN978-4-86366-862-1

《新刊予約のお申し込みは1月25日迄にお願いします》

飛騨高山藩主金森可重の長男で、京都で茶人として活躍した宗和流茶道の祖、金森宗和(諱重近：一五八四～一六五七)は、古田織部や小堀遠州の茶風を取り入れながらも公家たちと交わり、独自の茶風を確立した。仁清による御室焼を自らの茶の湯に取り入れたことでも知られる。

古記録や日記、宗和自身や公家・大名・町人などの書状などから、金森宗和の茶の湯とその人物に迫る。「姫宗和」と呼ばれた宗和の茶風が必ずしもそうとは言えないという自説も展開する。肖像画・宗和流茶書・茶会記・主要茶道具・書状の各一覽、茶会記・書状登場人名一覽、系図など資料も豊富な金森宗和伝の決定版。

〔内容目次〕序に代えて―宗和の肖像画／宗和以前の金森家／宗和の家族と金沢の家系／生涯／住居／宗和と御室焼／宗和の茶書／宗和の茶会記／宗和の書状／宗和をとりまく人々／宗和の茶の湯と姫宗和の実態／年譜・参考文献

「茶人叢書」監修 熊倉功夫 (静岡文化芸術大学学長) ・ 筒井紘一 (茶道資料館副館長・今日庵文庫長)

茶の湯はさまざまの要素から成り立っていますが、その諸要素の中核にあるのが「人」であることはいうまでもありません。名器もまた、その人を得て生かされ、名茶会は主客のはたらきによって生まれます。こうした視点から茶の湯の歴史をふりかえりますと、茶の湯の先人たちが、どのような思いを茶に託し、どのように茶に生きたのか、そこが知りたいところです。

歴史に残る茶人はたくさんいますが、その茶の湯を伝記としてまとめるといいうことになる、史料が豊富な茶人は決して多くはありません。そこで、茶道史上、逸することのできない茶人で、しかも相当の史料を残す人物を中心に、分かり易く、しかも最新の研究成果を加えて新たに書き下ろす茶人叢書をここに企てました。

この叢書が、茶の湯を楽しむ現代の茶人の心の糧となるばかりでなく、日本の伝統文化に深い関心をもつ多くの人々にとって、よき入門書となると確信します。

- 続刊予定
- 珠 光(神津朝夫) 織田信長(竹本千鶴) 津田宗及(筒井紘一) 千 利休(田中秀隆)
 - 山上宗二(竹内順一) 豊臣秀吉(中村修也) 織田有楽(中村利則) 細川三斎(矢部誠一郎)
 - 千 宗旦(原田茂弘) 千一翁宗守(木津宗隆) 片桐石州(谷端昭夫) 山田宗偏(矢部良明)
 - 千覚々斎宗左(熊倉功夫) 川上不白(森田晃一) 松平不昧(木塚久仁子)

発売中

千利休 桑田忠親著 小和田哲男監修

四六判・二四〇頁・並製
定価一、五〇〇円(＋税)
ISBN978-4-86366-095-3

秀吉と利休、確執の真相は――。信長との関係、秀吉との因縁から、利休処罰の原因と動機に迫る。

注文書

書店(帳合)印

条件

注文数 冊 担当 様

発行 株式会社 官帯出版社 京都市上京区真倉町七三九-1 TEL075-441-7747 FAX075-441-8877

茶人叢書

金森宗和 異風の武家茶人 谷 晃 著

ISBN978-4-86366-862-1 C1023 ¥3200E

定価(本体 3200円＋税)

年 月 日

注文書

書店(帳合)印

条件

注文数 冊 担当 様

発行 株式会社 官帯出版社 京都市上京区真倉町七三九-1 TEL075-441-7747 FAX075-441-8877

千利休

桑田忠親 著
小和田哲男 監修

ISBN978-4-86366-095-3 C0023 ¥1500E

定価(本体 1500円＋税)

年 月 日

書店でご注文ください

株式会社 官帯出版社

〒602-8488 京都市上京区真倉町 739-1 www.miyaobi.com
TEL: (075) 441-7747 FAX: (075) 431-8877